

しんぐう

町を支える さまざまなボランティア



議会だより

6月
定例会

第114号

令和8年(2026)7月25日発行
発行／福岡県新宮町議会

特集 P2~3

まちのボランティアレポート

定例会 P4~5

豪雨災害への備えが進められています

2人が一般質問 P8~10

議員が体験!!



新連載

まちのボランティアレポート

今号より新連載「まちのボランティアレポート」をスタートします。
 町内で行われているボランティア活動に議員が実際に参加し、現場の声や活動の魅力などをお伝えします。
 新宮町では、町民の暮らしを支えるさまざまなボランティア活動が広がっています。
 “誰かのためにできること”が、まちの安心とつながりをつくっています。
 第1回目の今号では、その中でも町や社会福祉協議会が主導して取り組む三つの活動を集めます。
 次号以降、町内で活動するボランティア団体を体験し紹介していきます。

ファミリー・サポート・センター

地域において子育ての援助を行いたい人(まかせて会員)と子育ての援助を受けたい人(おねがい会員)が会員となり、センターが仲介して子育てなどについて支え合う会員組織です。
 活動内容は、「保育施設などへの送迎」「子どもの預かり」などです。



まかせて会員の声

ファミリー・サポート・センターの会員になり、子育て支援に関わることができ、やりがいを感じています。
 お子さんの笑顔と成長に喜びと責任を感じています。
 これからも安心して利用していただけるように努めたいと思います。

おねがい会員の声

初回の顔合わせは少し緊張しましたが、打合せも支援もとてもスムーズで、子どももすぐに慣れ、安心してお願いできています。
 登校や放課後の預かりなどを助けていただき、地域のあたたかさには支えられていると日々感じています。

議員が体験しました

1年生の登校に付き添い、手をつないで話をしながら学校まで送りました。
 こちらも元気をもらい、あたたかい気持ちになりました。
 まかせて会員は、おねがい会員の役に立ちながら自分も元気をもらえる活動だと感じました。楽しかったです。

お問い合わせ先

新宮町ファミリー・サポート・センター(福祉センター 3階) ☎092-692-9622

運転ボランティア

車いすのまま乗車できるリフトカーを運転して通院や買い物時の送迎を行い、車いすを利用している人の社会参加を応援するボランティアです。

活動は平均月1～2回で、すきま時間に活動することができます。



運転ボランティアの声

リフトカー運転ボランティアを8年ほど続けています。

退職後、地域貢献を通して地域をもっと知りたいと思ったのがきっかけです。

利用者との会話は学びも多く勉強になります。

今後も自身の体調管理に努め、安全運転第一で活動が続けていきます。

利用者家族の声

平日に月2回、子どもの歯科受診などに利用しています。

乗り心地は良く、運転手さんが優しく子どもに声掛けしてくれ、楽しく通えて助かります。

施設での訓練の日は、行きのみ利用しています。帰りのタクシーでは車いすからの乗り換えが大変で、リフトカーは本当にありがたいと思います。

議員が体験しました

車いす利用者の外出を支えるリフトカー運転ボランティアを体験しました。

安全・安心な送迎を心掛ける中、スロープでの手助けに感謝の言葉をいただき、利用者に寄り添い、役に立てる喜びと支援の大切さを実感しました。

お問い合わせ先

新宮町社会福祉協議会(福祉センター 1階) ☎092-963-0921

認知症キャラバン・メイト

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、行政区の地域サロンや学校での福祉学習で「認知症サポーター養成講座」を企画・開催しています。



キャラバン・メイトの声

友が認知症らしいと聞き、キャラバン・メイトになり、今まで言葉でしか分かってなかった認知症について当事者や家族の思いを少し知る事ができました。

「地域サロン」「福祉学習」「職場研修会」などで仲間と啓発活動中。住み慣れたこの町でこれからも住み続けられますように！

中学生の声(福祉学習受講)

認知症について学び、認知症は誰でも関わる可能性のある身近な問題だと分かりました。

また、劇を通して、認知症の人が不安な気持ちを抱えていることを知りました。認知症の人や家族が安心して生活できるように、相手の気持ちを考えて優しく寄り添い、あたたかく見守ることが大切だと感じました。

議員が体験しました

学校の福祉学習でロールプレイを行い、認知症のお年寄り役になり切り演技をしました。生徒のみなさんの、はじめはびっくりしながらも、一生懸命に助けようと声をかける姿に感動しました。

理解が広がることで、当事者も家族も安心して暮らせる新宮町になればいいなと思います。

お問い合わせ先

新宮町健康福祉課高齢者福祉担当(福祉センター 2階) ☎092-710-8286

豪雨災害への備えが進められています

豪雨災害に備えて、新宮中央浄化センター、新宮中央駅(関連記事7ページ)の浸水対策が進められています。また、町内3箇所に浸水検知センサーが設置されます。

Q 昨年の浸水被害を受けて、今後の具体的な対応策は。

A 事前に防災情報を収集し、前日から職員および管理事業者の待機や、資機材の準備に努める。また、新宮中央浄化センターに昨年から仮設しているポンプを本設に移行する。昨年被災の原因となった流入ゲートは復旧が終わり、状況に応じて操作する。

第2回定例会を、令和8年6月5日から16日まで開催しました。

令和8年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3150万5千円を追加し、総額189億948万5千円とするものです。

浸水検知センサーの設置

200万円

集中豪雨時に道路などの浸水被害状況を把握するため、設置するものです。

Q 設置場所はどこか。

A 上府北、夜臼3丁目、三代西を予定している。

Q どのように活用していくのか。

A 水が溜まると役場職員へLINEが届く。

今年度の効果を見極め、今後の設置箇所や機種選定の検討をしていく。

今年度は、LINE情報の外部発信は考えていない。



町内3箇所に設置される浸水検知センサー

チエジユ* 済州オルレウオーキングフェスティバル参加旅費

37万1千円

九州オルレ認定地域協議会を代表し、PRのため、参加旅費を計上するものです。

Q フェスティバルの具体的な規模や参加者、参加する目的は。

令和8年度、本町が九州オルレ協議会の海外PR担当になった。

A オルレを世界に発信するため韓国・済州で年1回行われているフェスティバルで、九州オルレを代表し宣伝広報を行うため、職員2人を派遣する。

*【オルレ】韓国・済州島から始まったトレッキングコース。もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。本町には「新宮・立花コース」「新宮・相島コース」がある。

条例の制定

町立学童保育所の受け入れ体制整備

町立学童保育所において、待機児童の解消および今後利用児童数の増加が見込まれる学童保育所の受け入れ体制を整えることを目的に、新宮町立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正するものです。

【令和8年7月21日から】

・新宮東小学校学童保育所 第3クラブ追加(定員30人以下)

【令和9年4月1日から】

・新宮小学校学童保育所 第4クラブ追加(定員30人以下)

・立花小学校学童保育所 定員20人増(定員60人以下)

Q クラブが増えることで職員の確保はできるのか。

A 比較的ゆとりのある新宮北小学校から、新宮東小学校への異動で、支援員確保を考えている。

令和9年4月にクラブを追加する新宮小学校は、指定管理者と協議しながら人員確保に努める。



新宮東小学校に学童第3クラブが開設されます

工事請負契約の締結

シーオーレ新宮大規模改修工事

○契約金額 7億8883万7682円

○契約の相手方 株式会社ビルディングDr.

○工期 契約締結の日の翌日から令和10年2月29日まで

その他の関連質問

農業の将来像は

Q 農地の減少について、町の農業の将来像をどう考えているのか。

A 残っている農地を維持する方向で検討している。

Q 耕作放棄地を減らす取り組みが必要だと思う。民間や福祉関係で連携したいところがあると思うが、連携の考えは。

A 現在のところそのような話はない。

町民体育館について

Q 新宮中学校の卓球部が利用しているが、空調機設置の検討は。

A 現時点では、空調機の設定は検討していないが、状況が変われば都度検討したい。



町民体育館

地域活性化・未来創造

調査特別委員会

令和8年5月22日第8回委員会が開催され、新宮スマーティンターチェンジ(仮称)の進捗状況、財政シミュレーションの説明を受けました。
令和8年6月9日第9回委員会が開催され、新宮町旧新宮東幼稚園敷地活用・新宮町新体育館建設基本計画について、説明を受けました。

上下水道料金等調査

特別委員会

令和8年3月4日から7月9日まで計7回の委員会が開催され、慎重に調査・審査を行いました。

議会改革推進会議

令和8年6月9日、議会基本条例の検証、議場の活用、中学生チャレンジ議会2026について会議を行いました。

しんぐうペイ 2000万円増額 !!

文教生活

令和8年6月10日の委員会で、各課の報告を受けました。

- 令和8年度販売額(電子マネーのみ)
1億2000万円(発行総額1億4400万円、プレミアム率20%)
- 購入限度額 4万円 (購入単位1万円)
- 申込資格 町内在住者のみ(2次まで)
- 申込期間 令和8年9月4日～9月16日
*販売状況により2次、3次販売実施
- 利用期間 令和8年10月1日～令和9年1月31日



大好評のしんぐうペイ

クーリングシェルターに指定

今年度から、町が管理する公共施設を、クーリングシェルターとして指定するとの報告を受けました。

【指定施設および開設日時】

- ・新宮町役場
- ・そぴあしんぐう
- ・シーオーレ新宮
- ・福祉センター
月～金 8時30分～17時
- ・ふれあい交流館
火～金 9時～17時

※祝日、12月28日～1月4日を除く

※工事などで使用できない場合があります

クーリングシェルターって何？

熱中症による健康被害を防止するため、国が定めた「指定暑熱避難施設」のことをいう。



クーリングシェルターに指定の公共施設

Q 民間の施設に募集をかけるということであるが、候補はあるのか。

A 手をあげてもいいという施設はあると聞いている。

総務 建設

新宮中央駅東口 止水板設置工事に遅れ

令和8年6月11日の委員会で、各課の報告を受け、付託案件1件を審査しました。



浸水への備えを

昨年の豪雨災害で被災した、エレベーター・エスカレーターの浸水対策として進められている止水板設置工事について、進捗状況の説明を受けました。

【工期延長の理由】

今般の中東情勢の影響により、主要材料の確保が困難となり、止水板の製作に遅れが生じたためです。

【工事完了の見通し】

当初は令和8年7月末の予定でしたが、現状では10月末になる見込みです。今後の状況によっては、さらに遅延する可能性もあります。

【工事完了までの対策】

土のうと木製パネルを、エレベーターとエスカレーターの付近に設置できるよう準備しています。

町道路線認定に向け現地確認(相島)

定例会初日に委員会に付託された、町道路線認定を審査するにあたり、相島にて現地確認を行いました。福岡県の急傾斜地崩壊対策事業の施行に伴い、工事施工に要した道路を、町道として認定するものです。

Q 現地を確認したが危険な部分もあった。側溝の蓋などの工事は町が実施するのか。

A 町でやるか県でやるか、県との協議を進めたい。

Q 隣接する県の管理用道路への進入禁止の掲示など県と協議をしてほしい。また、雨が降った時に住居に影響がでないようにすべきだと思うが。

A 客観的に見て危険と思われる箇所があるので、県と協議をしていきたい。住居に影響がない形で事業を進めていくよう県には要望していきたい。

Q 表面の^{さいせき}碎石を除去すると雨が浸透しなくなると思うが。

A 大雨が降った時に現地を一度確認し、県に報告を行い、協議をしていきたい。



現地を確認しました



町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策論争をするものです。

質問事項は事前に通告し、質問者は30分の持ち時間内で質問します。

第2回定例会の一般質問は、令和8年6月8日(月)に2人が行いました。

会議録は、議会事務局および町立図書館で閲覧できます。また、質問の様子は録画配信しています。

※一般質問の原稿は質問者の提出原稿をもとに作成しています。

- 1 大牟田直人 議員 9
 - ・障がい当事者の意見を反映する制度の導入は
- 2 安武久美子 議員 10
 - ・低出生体重児保護者へ公的助成制度の新設を



録画配信はこちら



おおむ たなと
大牟田直人 議員



動画はこちら

当事者参画で
誰もが安心して暮らせる新宮町を

障がい当事者の意見を 反映する制度の導入は

細かな声をどんな形で 取り入れるかは検討

町長



ふれあい交流館多目的トイレ
低い位置に鍵が設置されました

問 ふれあい交流館の多目的トイレにおいて、車いす利用者から「内側の鍵に手が届かず、自分で施錠できない」との声が寄せられた。この課題は町のユニバーサルデザインのあり方を見直す契機となるものである。

全国では、障がい当事者が参画するヒアリングや意見交換会、ワークショップなどの仕組みを導入し、施設整備や改善に生かしている自治体もあり、共生社会の実現に向けた大きな力となっている。

問 今後の公共施設整備において、障がい当事者の意見を取り入れる仕組みを導入する考えはあるか。

町長 必要に応じて、例えば身体障がい者福祉協会の総会の折に、意見を聞くことなど検討できると考えている。

また、新たに施設を整備する際には、ユニバーサルデザインに関するパブリックコメントを実施するなど、全ての人が利用しやすい施設となることをめざしていきたい。

問 令和7年5月に国土交通省から出された『建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン』では、「共生社会を実現するため、誰もが安心して快適に利用できる建築物の整備を進めることが重要である。法律にとどまらず、当事者が参画して、確認しながら整備を進めることが有効である」との旨が書かれている。

このガイドラインに沿って、当事者の意見を反映する仕組みを制度として今後の公共施設整備において導入する考えは。

町長 パブリックコメントなどは実施しており、意見は取り入れたものである。町民の声を無視して公共施設を建てているわけではない。細かな声をどういった形で取り入れていくかは検討して、みなさんが使いやすい、心地よい施設をめざして、いろんな意見をこれからも聞いていきたい。

教育長 学校の実態として可能であれば、取り入れることも可能であると考えている。

問 小中学生の福祉学習に、当事者にゲストティーチャーとして来てもらい、子どもと一緒に、既存施設を回り、点検するといった取り組みができないか。



役場駐車場に車いすやベビーカーなど
誰もが通りやすい動線を

低出生体重児保護者へ 公的助成制度の新設を

町長

ニーズや他自治体の 状況を見て検討

＊【低出生体重児】出生時の体重が2500g未満で生まれた新生児。体重により1500g未満を極低出生体重児、1000g未満を超低出生体重児と分類される。

経済的負担の軽減は、お母さんの
孤立感をやわらげ大きな安心に



やすたけ くみ こ
安武久美子 議員

動画はこちら



公共施設の授乳室にて搾乳できます

問 小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）がNICUに入院している間、お母さんは3時間おきに1日約8回の搾乳を行い、冷凍母乳パックに詰め赤ちゃんに母乳を届けている。手動や電動の搾乳機購入やレンタル費用、母乳パック代金など数か月わたるこれらの負担には十分な支援が届いていない。

本町の直近年間出生数、低出生体重児数、および養育医療対象児数は、

また、現在実施している支援施策の内容は、

町長 令和7年度の年間出生数は270人、低出生体重児数は22人、養育医療対象者は7人である。

町の支援策は、「地区担当保健師を中心に乳児家庭全戸訪問」「産前産後のサポート事業」「乳幼児健診」「いつでも相談できる体制づくり」「訪問介護やヘルパーなどの福祉サービス」である。

また、未熟児養育医療制度の医療費助成を行っている。

問 NICUなどに入院中の乳児を持つ保護者を対象に、搾乳機費用、および冷凍母乳パック費用への公的助成制度を新設すべきと考えるが意見を伺う。

＊【NICU】新生児集中治療室。早産や低出生体重児、疾患を持って生まれた赤ちゃんを24時間体制で集中的に治療・管理する病棟。

問 当然、精神的サポートは重要だが、それが経済的支援をやらない理由にはならない。心身ともに極限状態にあるお母さんは声を上げる余裕はない。サイレントニーズととらえて、経済的なサポートをすることが精神的なケアになると思う。

町長 出産後の母親に対する身体的・精神的サポートが重要と考え、母子を支えていくための支援体制の充実に取り組んでいる。

搾乳費用などの公的助成制度の新設は保護者のニーズや他自治体の取り組み状況を見ながら、必要に応じて検討していきたい。



新宮町子育てガイドブック

また外出時の搾乳場所として、公共施設の授乳室に、搾乳できますマークの表示や周知啓発の考えは。

清潔を保つ水道設備や電動搾乳機のためのコンセント、母乳パック詰めの作業机、いすなど環境整備はできているか。

町長 今回の提案を受け、搾乳できますというマークの掲示を早速実施した。

子育て支援課長 水道設備は衛生的な面で、ついている所、ついていない所がある。

消毒などすぐ設定できるものは設置の方向で検討する。

令和8年第2回(6月)定例会における審議結果

審議結果

種別	件名	採決
専決	新宮町税条例の一部を改正する条例の制定	承認
	令和7年度新宮町渡船事業特別会計補正予算	承認
	令和7年度新宮町国民健康保険特別会計補正予算	承認
	令和7年度新宮町後期高齢者医療特別会計補正予算	承認
	令和7年度新宮町相島診療所事業特別会計補正予算	承認
	令和7年度新宮町一般会計補正予算	承認
条例	新宮町立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 5ページ参照	可決
	新宮町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
	新宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
補正予算	令和8年度新宮町国民健康保険特別会計補正予算	可決
	令和8年度新宮町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
	令和8年度新宮町相島診療所事業特別会計補正予算	可決
	令和8年度新宮町水道事業会計補正予算	可決
	令和8年度新宮町公共下水道事業会計補正予算	可決
	令和8年度新宮町一般会計補正予算 4ページ参照	可決
契約	工事請負契約の締結(新宮小学校昇降機設置工事)	可決
	工事請負契約の締結(新宮東小学校校舎屋上防水及び外壁改修工事)	可決
	工事請負契約の締結(新宮東小学校体育館空調機設置等工事)	可決
	工事請負契約の締結(新宮町庁舎大規模改修工事(第2期))	可決
	工事請負契約の締結(シーオーレ新宮大規模改修工事) 5ページ参照	可決
	工事請負契約の締結(新宮町立新宮中学校グラウンド夜間照明設備LED化改修工事)	可決
財産	財産の取得(新宮町立学校校務用パソコン購入)	可決
	財産の取得(学校給食用厨房機器購入)	可決
道路	町道路線の認定(相島循環支線) 7ページ参照	可決

注目を集める新宮町

多度津町議会

令和8年4月23日、香川県多度津町議会予算決算審査特別委員会が人口減少対策の取り組みについて行政視察に來られました。
土地区画整理事業、JR新宮中央駅周辺の整備について説明と意見交換が行われました。



編集後記

・福祉学習を見学。小学生の気づく力、やさしい気持ちを感じる、町のしあわせにつながる学習でした。(大牟田)
・健康な歯は毎日の積み重ねから。歯ブラシやフロスを使い、今ある自分の歯を末永く大切にしたいものです。

(片岡)

・立花山の朝ぼらけ♪玄界灘の夕映えに♪移り行く季節を感じ故郷想う。嗚呼、新宮に暮らす楽しさ如何!!(江口)
・あれこれボランティア活動に挑戦。初めての経験に学びを重ね、相手の立場に立って行動する大切さを実感しました。

(安武)

・町消防操法大会で相島B.F.C.の操法展示を見学しました。規律ある中学生の操法に私も背筋が伸びました。(西)
・7月に誕生日を迎え、また一年、これからの課題と、成長できる事を探して、自分と向き合っていきたいです。(上畝地)

議会との座談会のご案内

各種団体、小グループなど、気軽な感じでの意見交換の場にしたと思っています。



希望される方は議会事務局までお問い合わせください。

気軽な感じで
議員と意見交換しませんか?

☎ 092-963-1737 (直)

9月議会のお知らせ

令和8年9月1日(火)
午前9時30分開催予定

一般質問

9月2日(水)、3日(木)
午前9時30分開催予定

お気軽に傍聴にお越しください。

※日程、開始時間は変更になる場合があります。

※日程表は8月26日(水)、役場・そびあしんぐう・シーオーレ新宮などに掲示し、ホームページでも見ることができます。

※傍聴されるときは、受付が必要です。

※役場・そびあしんぐう・シーオーレ新宮のロビーのテレビでも議会中継を見ることができます。

議会中継・録画配信
しています!



今号の表紙

今号の特集「まちのボランティアレポート」に合わせ、本町を支えるさまざまなボランティアのみなさんの活動の様子を、新宮海岸を背景に表紙で紹介しました。



しんぐう
町を支える
さまざまなボランティア
議会だより
第114号

この夏議場が君の学び場に!!

～未来を議論する場で、未来に向けて学ぼう～

新宮町議会では、夏休み期間中、議場を自習室として開放します。

涼しく静かな環境で集中して勉強できます。

開放期間	7月21日(火)～8月7日(金) ※土日は利用できません
利用時間	午前9時30分～午後4時30分
対象	新宮町在住の 中学生・高校生
座席数	29席 ※予約はできません
参加方法	新宮町役場3階新宮町議会議事堂にお越しください

利用上の注意

- ・受付をしてから利用してください
- ・携帯電話はマナーモードにしてください
- ・私語は控えてください
- ・議場内は飲食禁止です(水分補給は可能)
- ・状況により中止する場合があります(議会開催等)

お問い合わせ 新宮町議会事務局 TEL: 092-963-1737

体育会・春フェスタ



新宮町立 中学校 訪問



【新宮東中学校】

共鳴〜つかみ取ろう！
みんなの勝利〜

新宮東中学校体育会が5月16日、晴天のもと開催されました。



真の勝利をめざして

今年のスローガン「共鳴〜つかみ取ろう〜みんなの勝利〜」のもと、1〜3年生が赤・緑・青・黄の4ブロックに分かれ、互いに励まし合いながら競技に臨みました。入学間もない1年生も上級生のあたたかなサポートを受け、のびのびと演技を披露。司会や進行も生徒自身が担い、体育会全体が生徒主体で円滑に運営されていました。部活動対

【新宮中学校】

楽勝〜みんなを描く青春の1ページ〜

5月16日に開催された新宮中学校の体育会では、生徒一人ひとりが競技だけでなく応援や運営にも主体的に取り組む姿が印象的でし

抗リレーではユニフォーム姿でのパフォーマンスが会場を沸かせ、防災拠点ならではの防災リレーでは、バケツリレーや土のう搬送、低姿勢での避難を想定したキャタピラー走など、楽しさと実用性を兼ね備えた競技に感心させられました。新宮音頭では、生徒と保護者、地域のみなさんが一緒に踊り、学校と地域が共に歩む一体感が広がりました。

た。生徒数1000人規模の学校でありながら、学年の垣根を越えた4ブロック編成は円滑に機能し、ブロック長をはじめとするリーダーの努力と、教育的な指導・配慮の積み重ねが随所に感じられました。

競技では仲間と息を合わせて挑む姿に大きな歓声が上がリ、ブロックパフォーマンスやブロック旗、学級旗には生徒たちの思いが力強く表れていました。また、救護スペースの設置や生徒主体の暑さ対策など、安心して参加できる環境が整えられていたことも心強く感じました。プログラム最後の新宮音頭では、故郷新宮を愛するあたたかい気持ちがあふれ、会場を包み、議会としても今後さらに普及を後押ししたいと感じました。

仲間と協力し挑戦したこの一日は、生徒たちにとってかけがえのない青春の1ページとなったことでしょう。



会場が一体となった「新宮音頭」

【相島分校】

島の魅力を発信・発見

春フェスタで島ガイドを務めた中学生のみなさんにお話を伺いました。

生徒たちは、相島の歴史や文化、島ならではの魅力を島外の人にも知ってもらいたいという思いで活動に取り組んでいました。中学生が案内することで、参加者に親しみやすく伝えられることも、この活動の大きな特徴です。

参加者一人ひとりに合わせて案内を工夫し、交流を深めながらガイドを行った結果、「楽しかった」「また来たい」といった声をもら



相島の歴史を島の内外に伝える

うことができ、大きなやりがいを感じたそうです。また、参加者との出会いを通して、自分たち自身も相島の良さを再発見できたと話してくれました。

一方で、原稿を見ずに説明する力や時間配分など、今後への課題もあげられました。リーダーを務めた生徒は「周りを見ながらみんなをまとめることの難しさを感じたと振り返ります。相島への愛着と地域への誇りが伝わってきました。これからも後輩たちに思いが受け継がれ、相島の魅力を発信する活動が続いていくことを期待しています。」